


本文61p


ナース
僕の乳母メイド
イザベラの筆おろし

～お乳がご所望なら種付けくださいまし～






今より
ここに綴る
事柄は



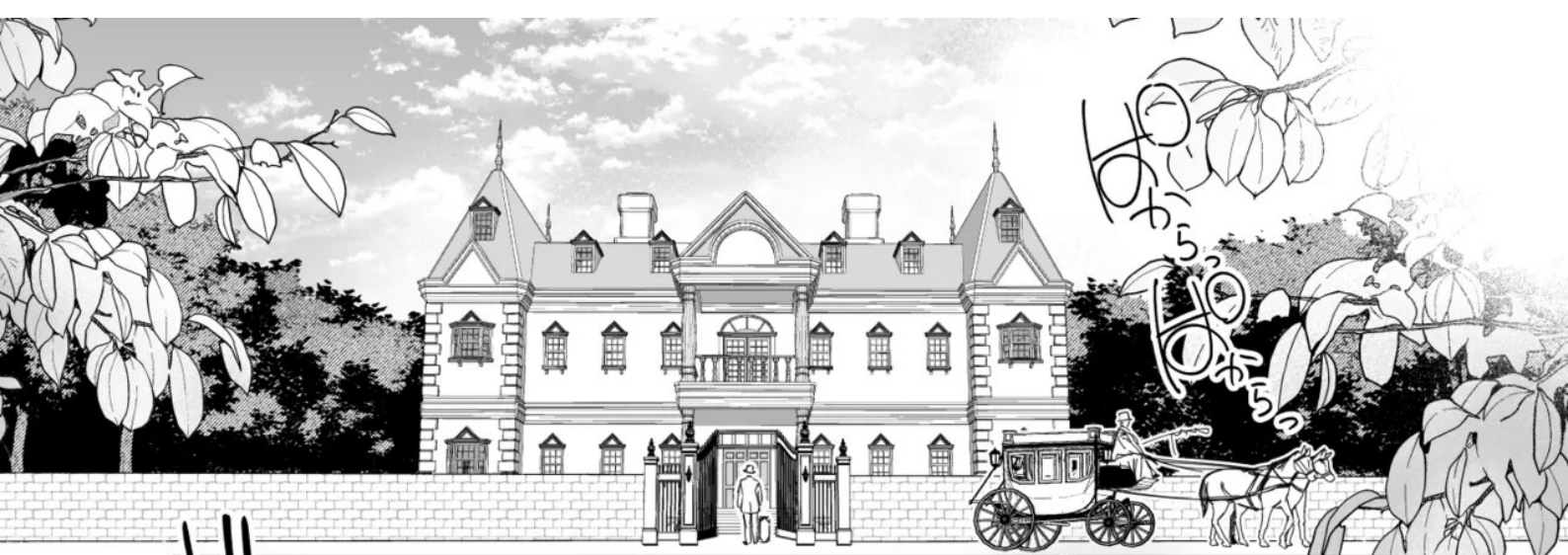
ぼくが
誰にも明かさずに
隠し通してきた秘密だ



いくつかの
隠し子たち



ぼくの
もう一人の
妻について



坊ちやま



ずいぶん早く
着いて
しまったな



出迎え
は…

お帰り
なさいませ

坊ちやま!





ぼくの乳母メイド
イザベラの筆おろし
～お乳がご所望なら
種付けくださいませ～

寄宿学校の
長期休暇

ぼくは
数年ぶりに
故郷の実家へ
帰っていた

ご両親は
月末お戻りに
なる予定です

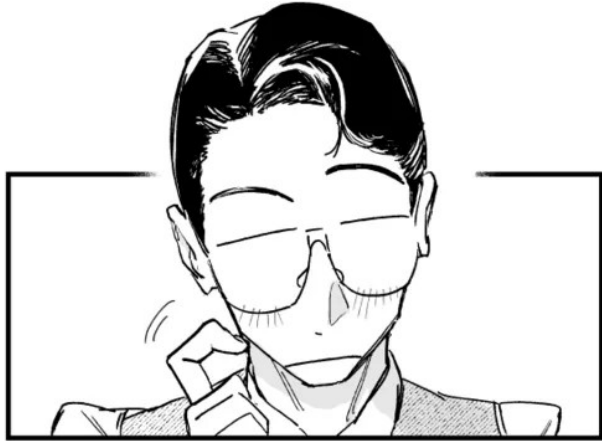
ご用命の際は
こちらの
ベルでー

まさか
彼女と一緒
だなんて…

それまでは
屋敷に通い
の
メイドしか
おりませんので

坊ちやまの
身の回りの
お世話は
わたくしが

…



大きく
なりましたね
坊ちやま



ナース
乳母メイドの
イザベラ

ぼくは
彼女に
育てられた



背丈も
こんな
伸びて…

わたくし
誇らしく
思います



ずるっ

貴族は
子育てを
使用人に委ねる

ぼくにとって
彼女は
母親代わりの
存在だった



この辺りの
地面はぬかるみ
易いようです



雨上がりには
お気をつけて…

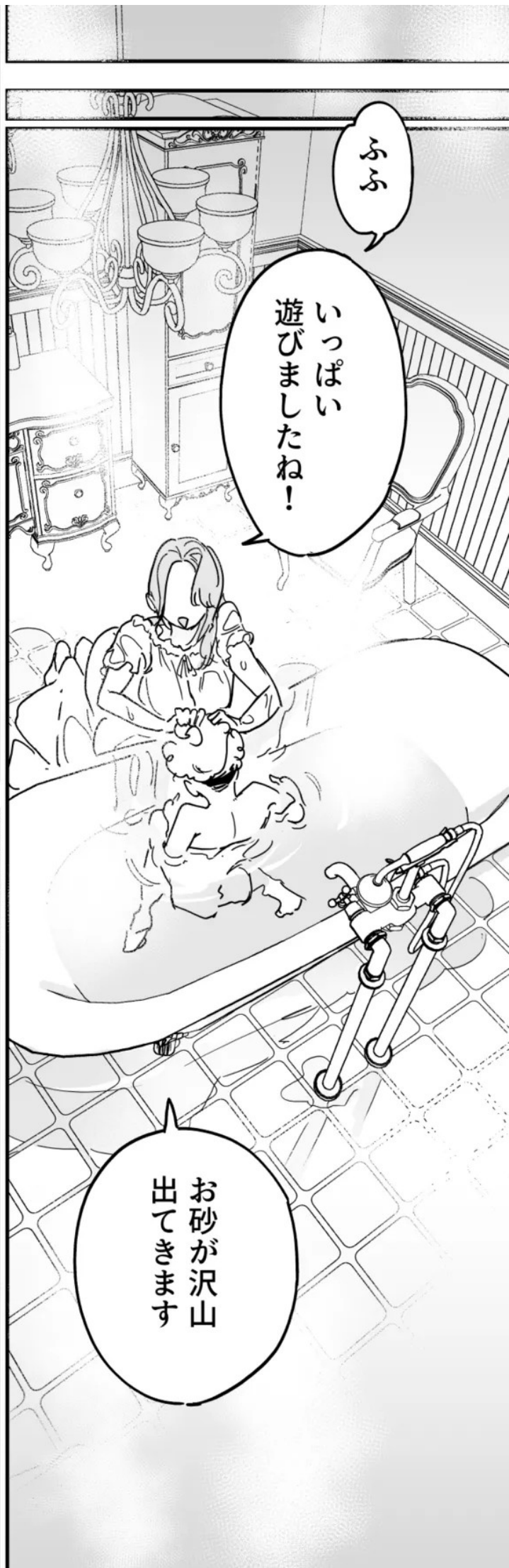
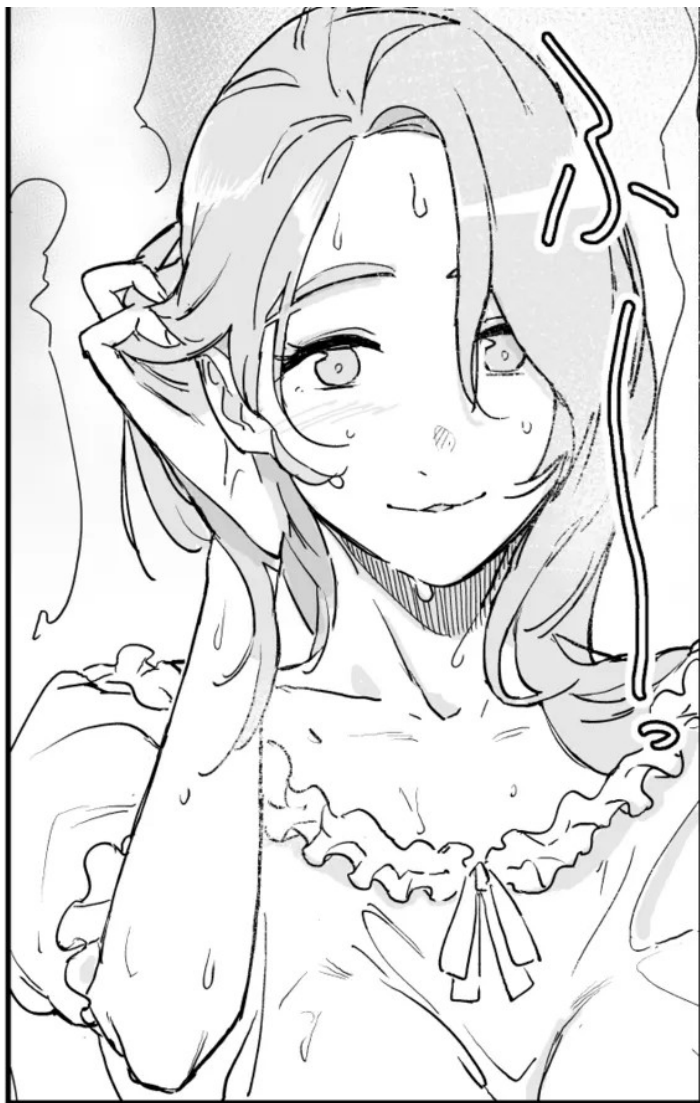
『ジャックは
すってんころりん
頭に大けが!』

先ほどの
坊ちゃまと
一緒ですね



『起きて！
ジャック
起きて!』

『お母さんに
会いに
行かなくちゃ!』



ふふ

いっぱい
遊びましたね!



おかゆいところは
ございませんか

坊ちやま

お砂が沢山
出てきます



?



いかが
なさいましたか

どこか
具合でも…?



坊ちやま?

はっ



ああ
いや

長旅で
少し疲れて
しまっ…



ふむ…

お熱は
なさそうですね

汗で身体が
冷えたのかも
しれません



念のため
お召し物を…



か
や
や

やめてくれ
イザベラ!

ぼくはもう
子供じゃない…

一人前の
紳士のよう
に扱って
くれ!





坊ちやま…



今

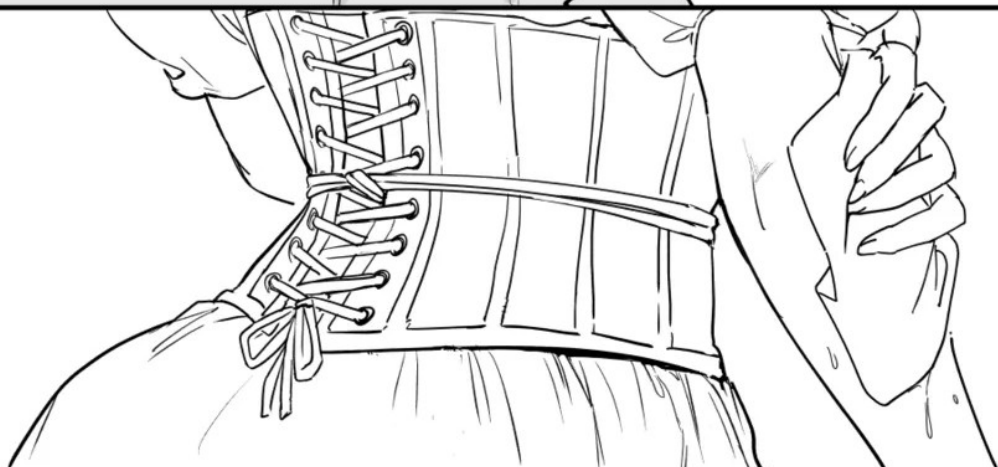
彼女を
目の前にすると…



くそ…
取り乱して
しまった

子供の頃は
平気だったのに

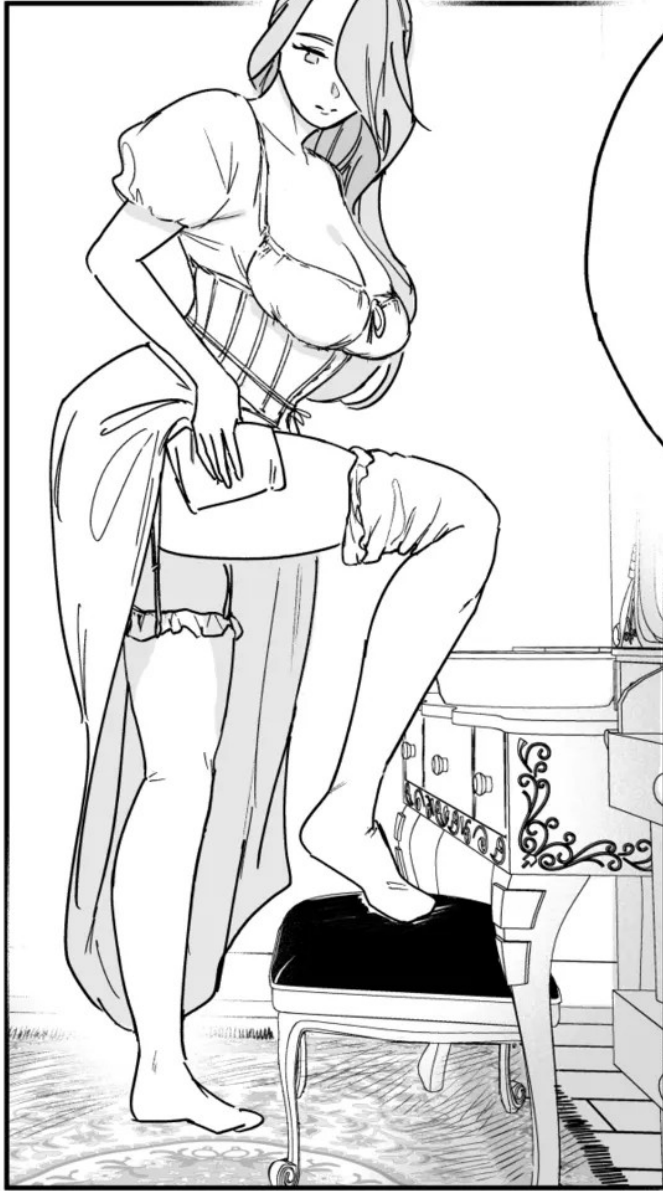








当時は
使用人が
風呂に入るなど
贅沢な時代



彼女は一日の
疲れを癒すため

濡れた布片で
身体をぬぐう

「立ち洗い」の
最中だったのだ

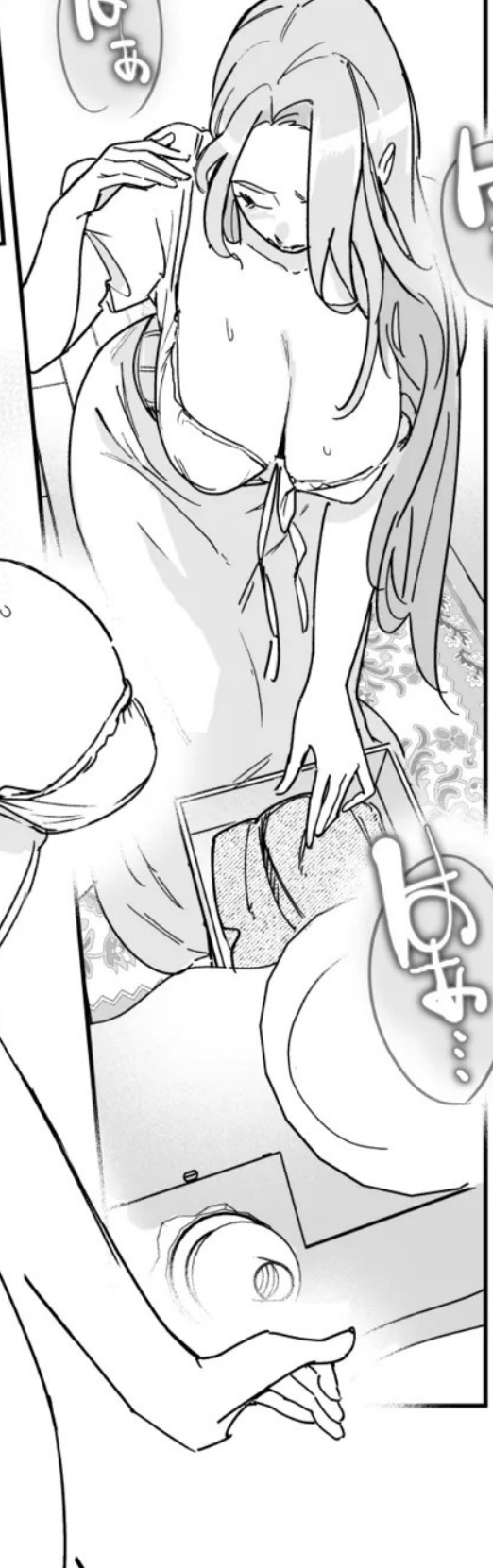
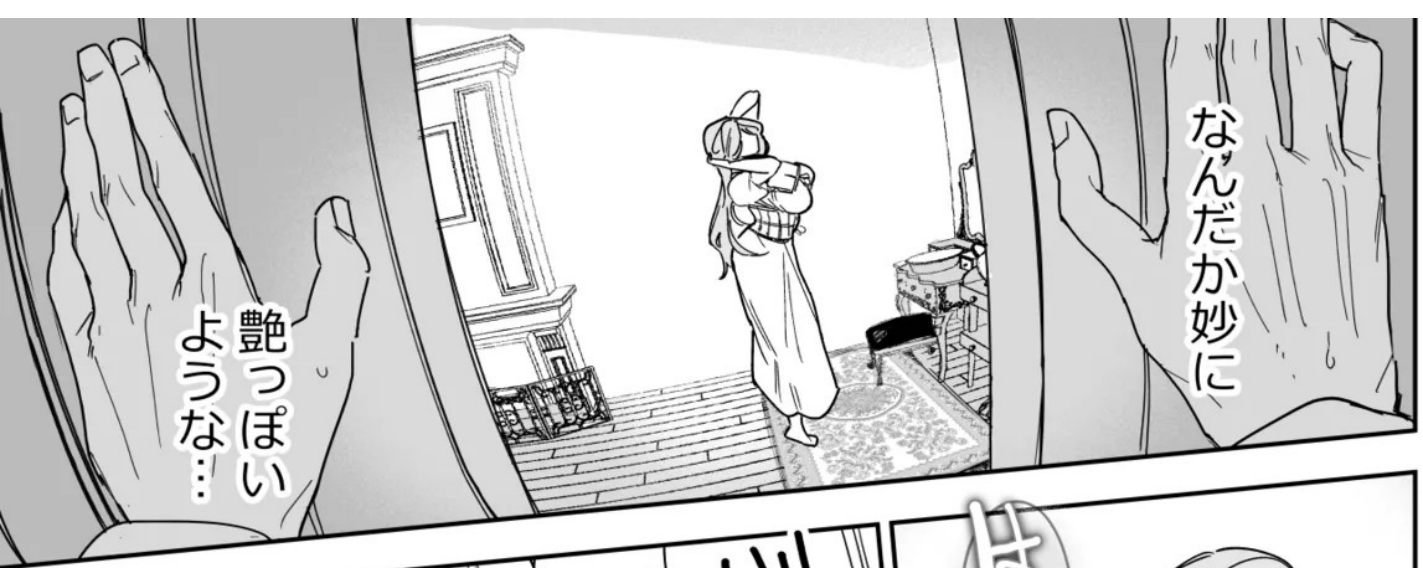
スンス...

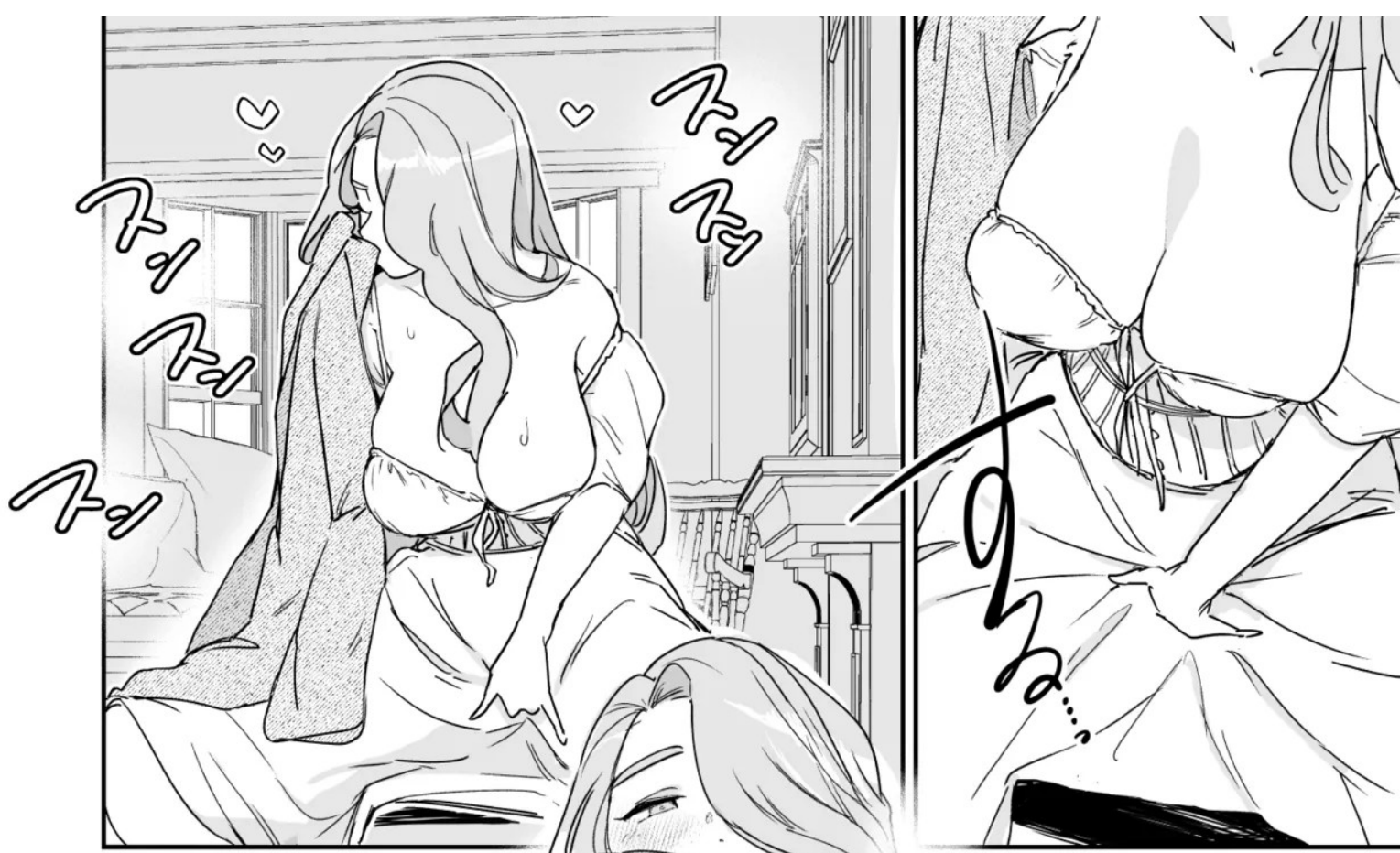


それ
にしては...



「うい
い」





好き好き好き
好き好き好き

はあ…
坊ちゃま



坊ちやま…♡

あんなに
成長して…っんっ

大人に
なりましたね…

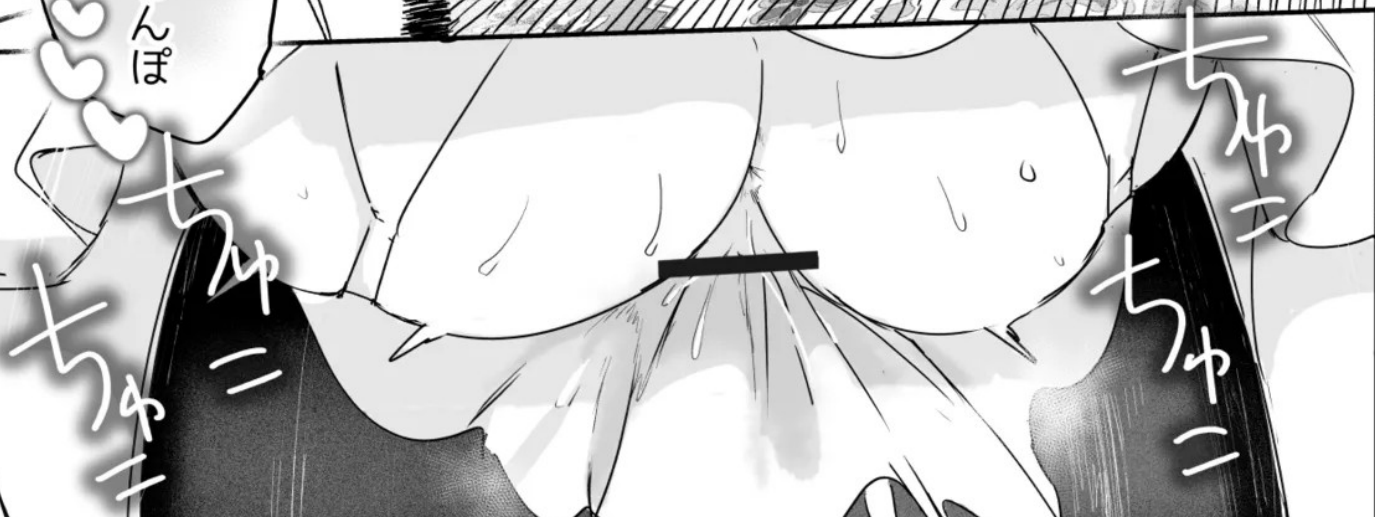
あ…♡

欲しい…です
ぼっちやま♡

あ…♡

ちんぽっ♡

坊ちやまの
大きくなったちんぽ
欲しいですっ♡





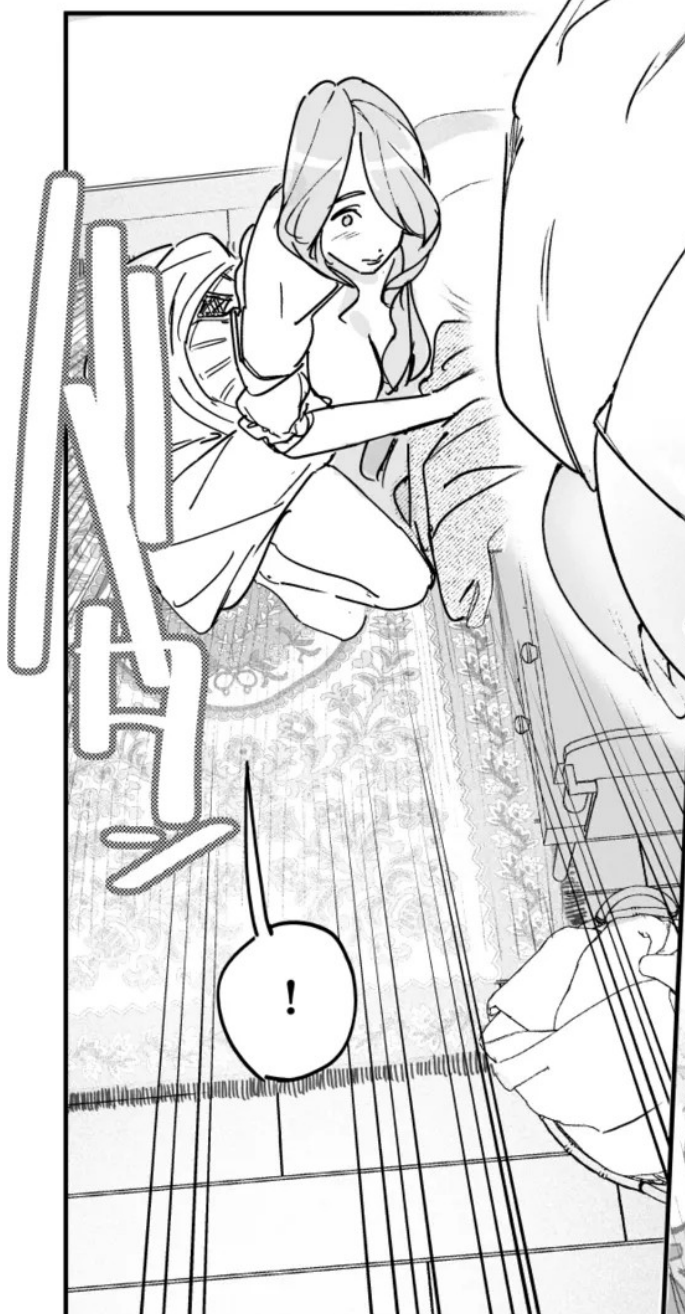
破廉恥な
乳母を許して……



は
坊ちやま
坊ちやま……

は

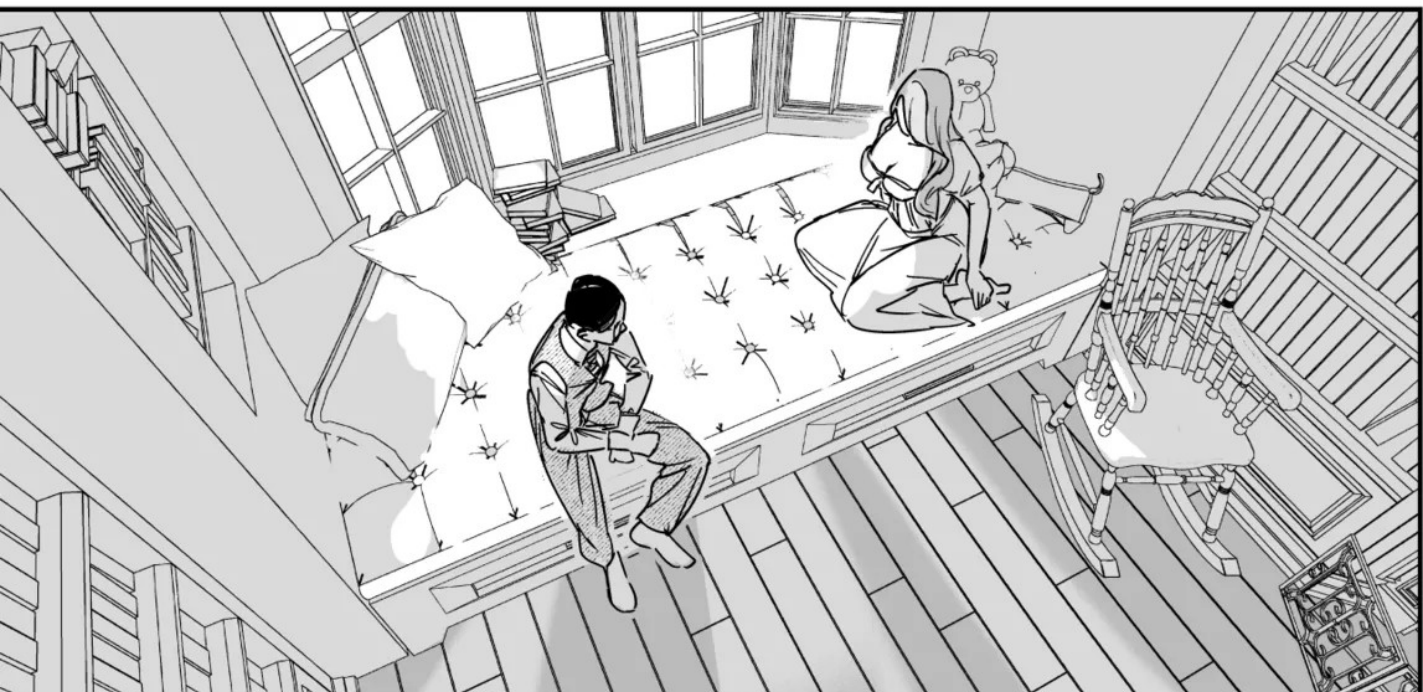
は
は



!



お許しを……





お見苦しい
ところを...



坊ちやま

…申し訳
ございません



い…いや
悪いのは
ぼくの方だ

君が身体を
休めて
いるのに

勝手に部屋を
覗くような
真似をして

…




あの



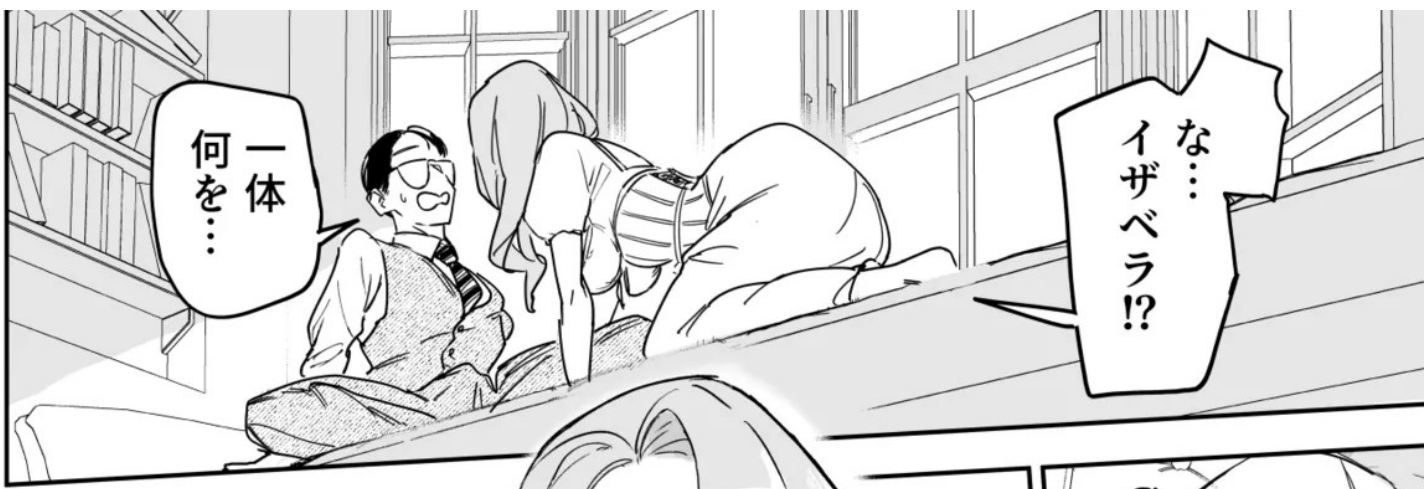
静まれ…っ

く…く…っ



失礼ですが
坊ちやまは

もう
女性経験は
お済みなので
しょうか…



一体何を...

な...
イザベラ!?



心配はいりません...
ご両親は

こんなに張りつめて...
お辛いでしょう?...

わたくしに務まるの
でしたら

筆おろしを

しばらくお戻りになり
ませんから

うっ



し…
しかし…

ccc

『一人前の』

『紳士のよう』

『扱ってくれ』

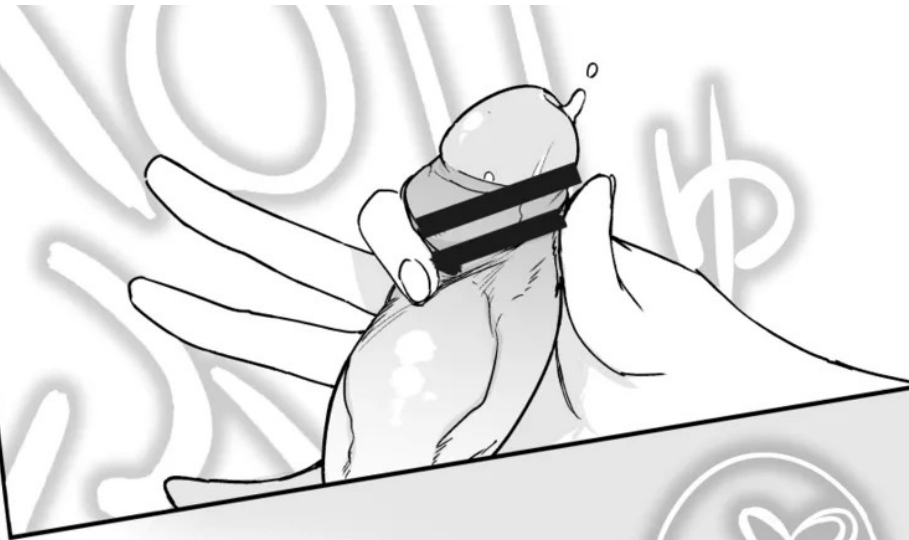
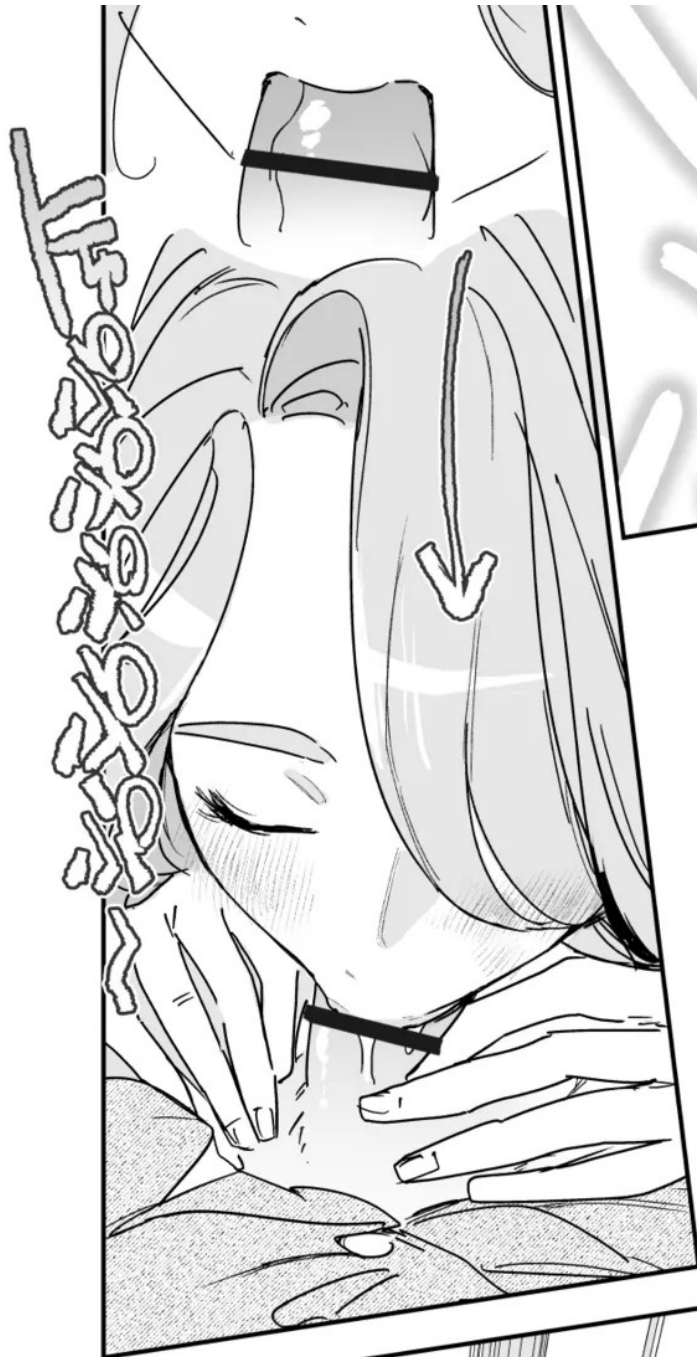


だって
坊ちやま

そう
おっしゃり
ましたよね…？



ほろん





ご立派に
なられて…♡



は…あ♡

あんなに
可愛かった
おちんちんが



イザベラ…
ぼくの
あそこを

そんな…
ごちそうみたいに…







柔らかい...



待つ待て
イザベラ

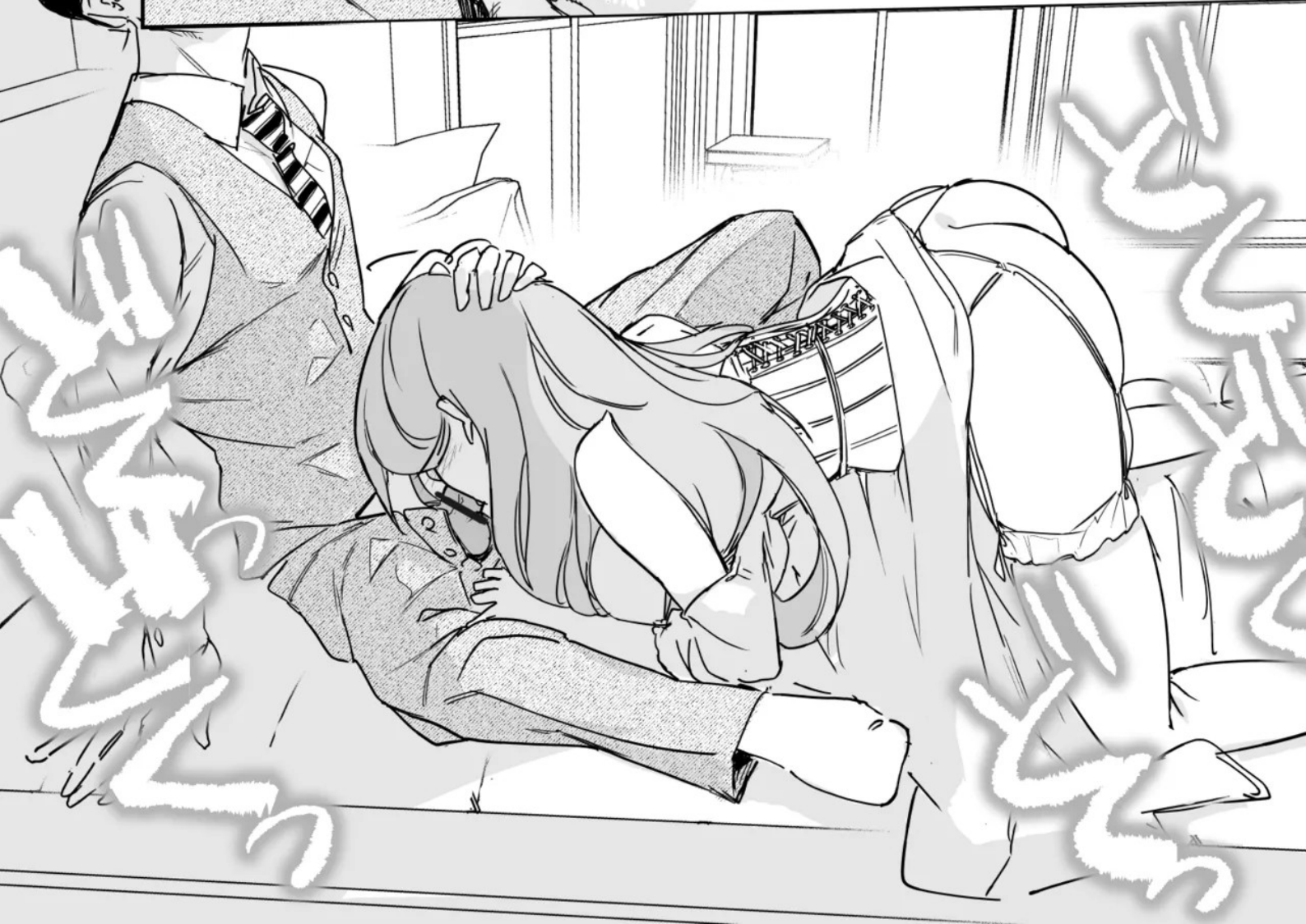
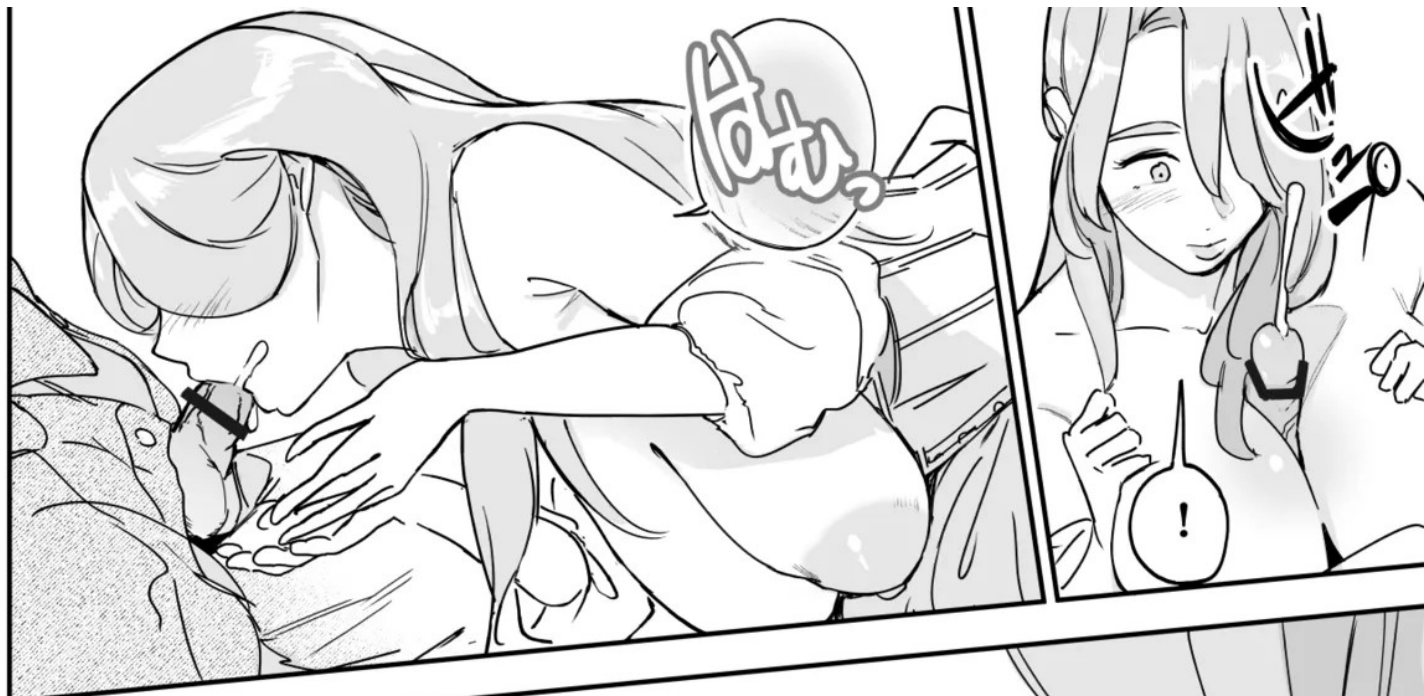
お加減は
いかがですか?



心地
良すぎる...



そんなこと
したら...





最後の
一滴まで…

ちゅぽっ

ちゅぽっ



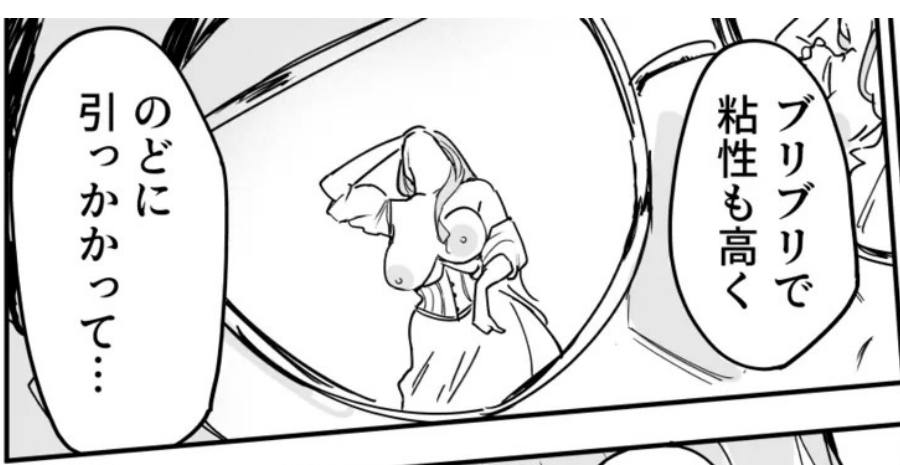
搾り取られる…

尿道に
残った



ご立派れす…
ほっひやま♡

こんにちは
たくさん…♡♡



ブリブリで
粘性も高く



ニオイも…
すご…♡

ん…



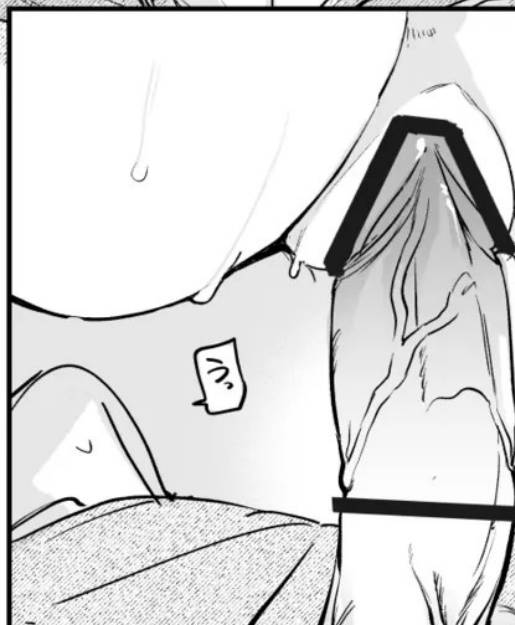
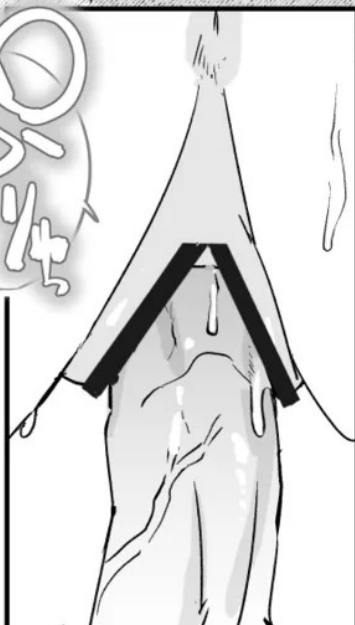


そろそろ…

坊ちやま

殿方に成長した
坊ちやまちゃんぽ…

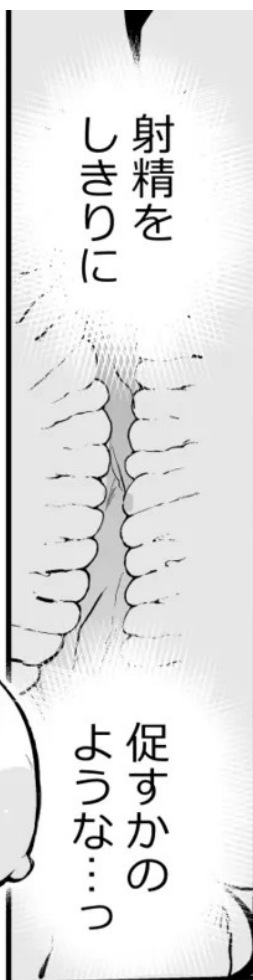
ご挿入させて
頂きます…





あーん!!!
坊ちやま

さすが
です



射精を
しきりに

促すかの
ような…っ



な…

なんだ
これは…ッ

キュウッ

膣内が
うねって…

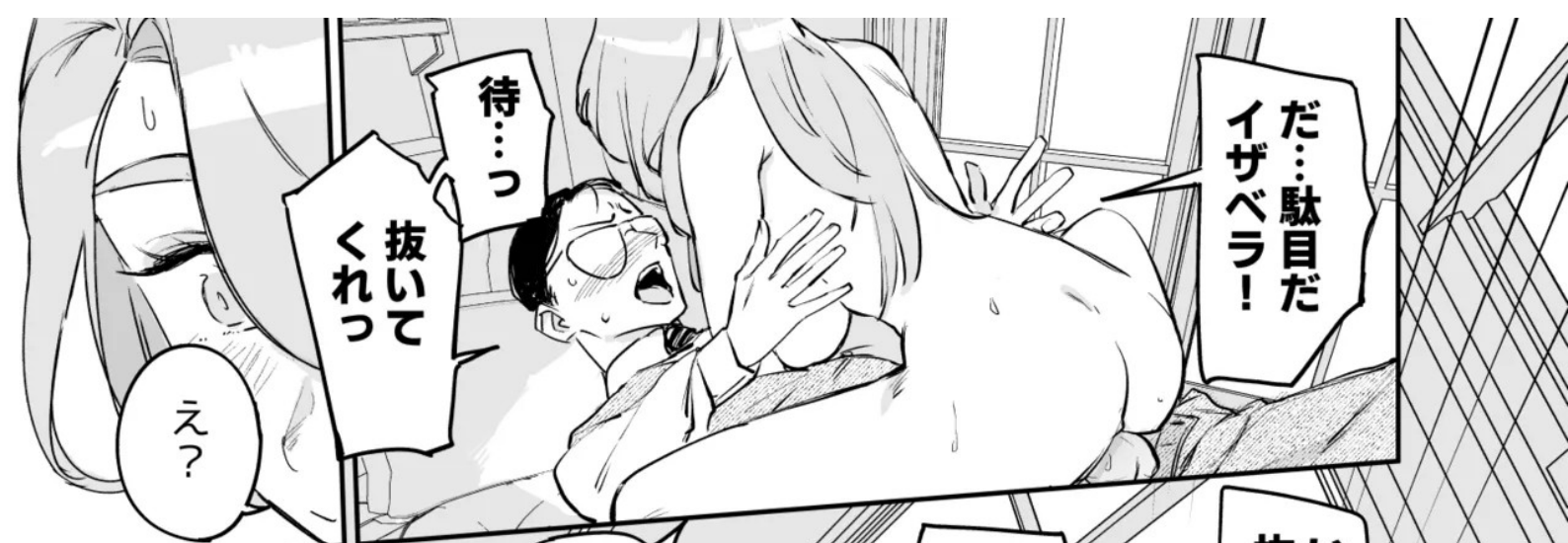
ぼくのモノに
絡みついて…ッッ



こうして
押し付けると…

赤ちゃん部屋まで
しっかり届きます…♡

んっ♡♡



だ…駄目だ
イザベラ!

待…っ

抜いて
くれっ

え?



いますぐ…
抜かないとッ

ぜんぶ…
君のなかに…ッ

わ…っ
いけません
坊ちゃまっ

そんなに
広げては…っ

あ…

あ

あ



あ…ん

まだ
出てるう…♡

す…す…す…
坊ちやま…♡





そのまま
中に…

す…
すまない
イザベラ



何を
おっしゃいます
坊ちゃんま…

初めてなのに
よく
頑張りました！

pop
ジュッ



最後はむしろ
押さえつけて
いましたよ…？

それに…





色事にふける
ようになった

ぼくらは
通いのメイドの
目を盗んでは

うん...
うん...



坊ちやま...

あ...

あ...

あ

あ

あ

ふふ…

さすがに昔ほどお乳も張りませんが

また乳母らしい事が出来て嬉しいです

子供の頃と吸いつき方がそっくり…



まだ母乳が…



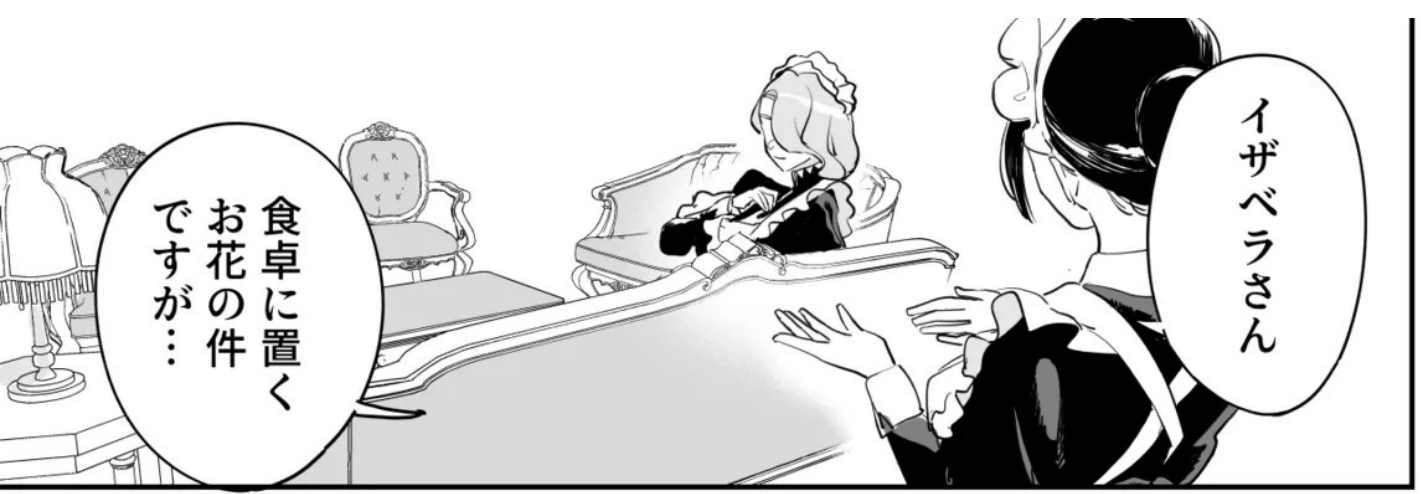
イザベラ…

母乳はどうすれば出るようになるんだっけ…?



それは…





イザベラさん

食卓に置く
お花の件
ですが…



坊ちやま



伺います



この子たちが
帰ったら…

ね？



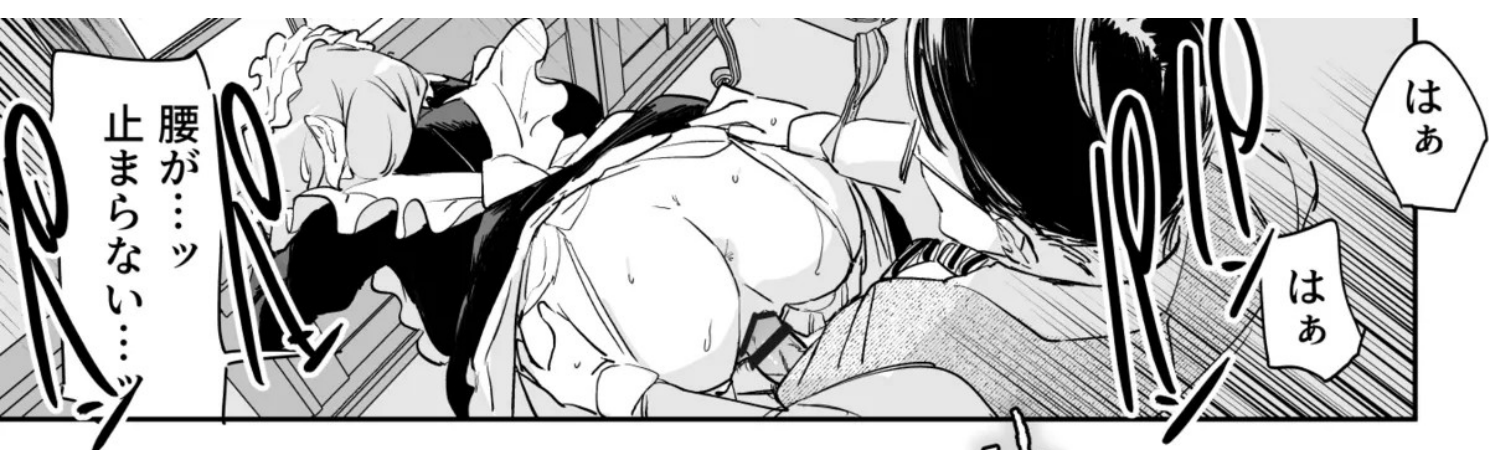
通いのメイドが
帰るや否や

ぼくは
動物のように
彼女を求めた



あ
坊ちやま

そこ…
深い



はあ

はあ

腰が…ッ
止まらない…ッ



んんんんん

ふむっ

キキキキキ
キキキキキ
キキキキキ



イザベラ

!



知って
おりますか
坊ちやま

我々
使用人の
間では

貴族の乳母に
なるために

んっ!!

意図的に
身ごもる女も
いるのですよっ

赤子を産まなければ
お乳は出ませんから…

乳母のお乳を
ご所望でしたら…

たっぷり
種付け
くださいまし

あーん



すまない
イザベラ

全然
おさまら
ないんだが…

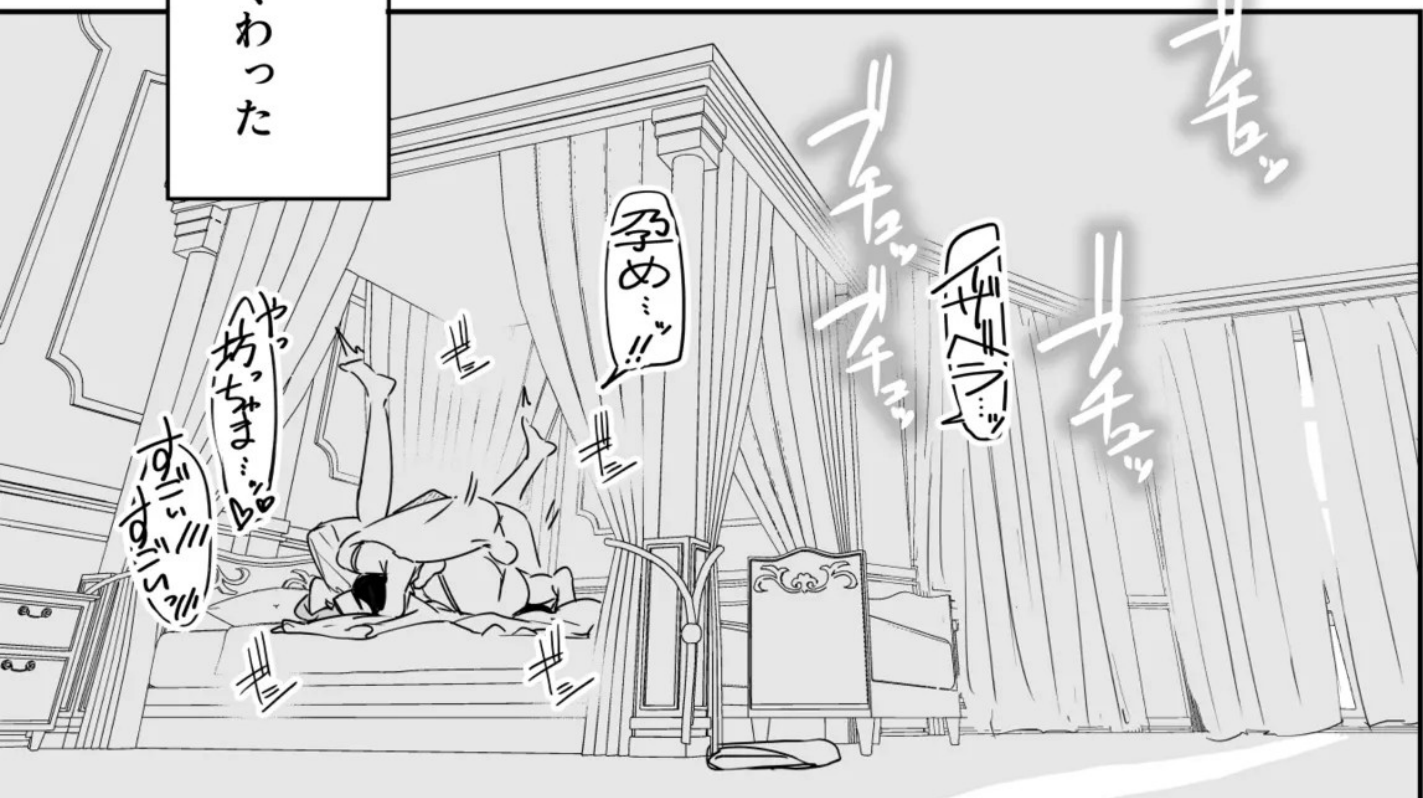
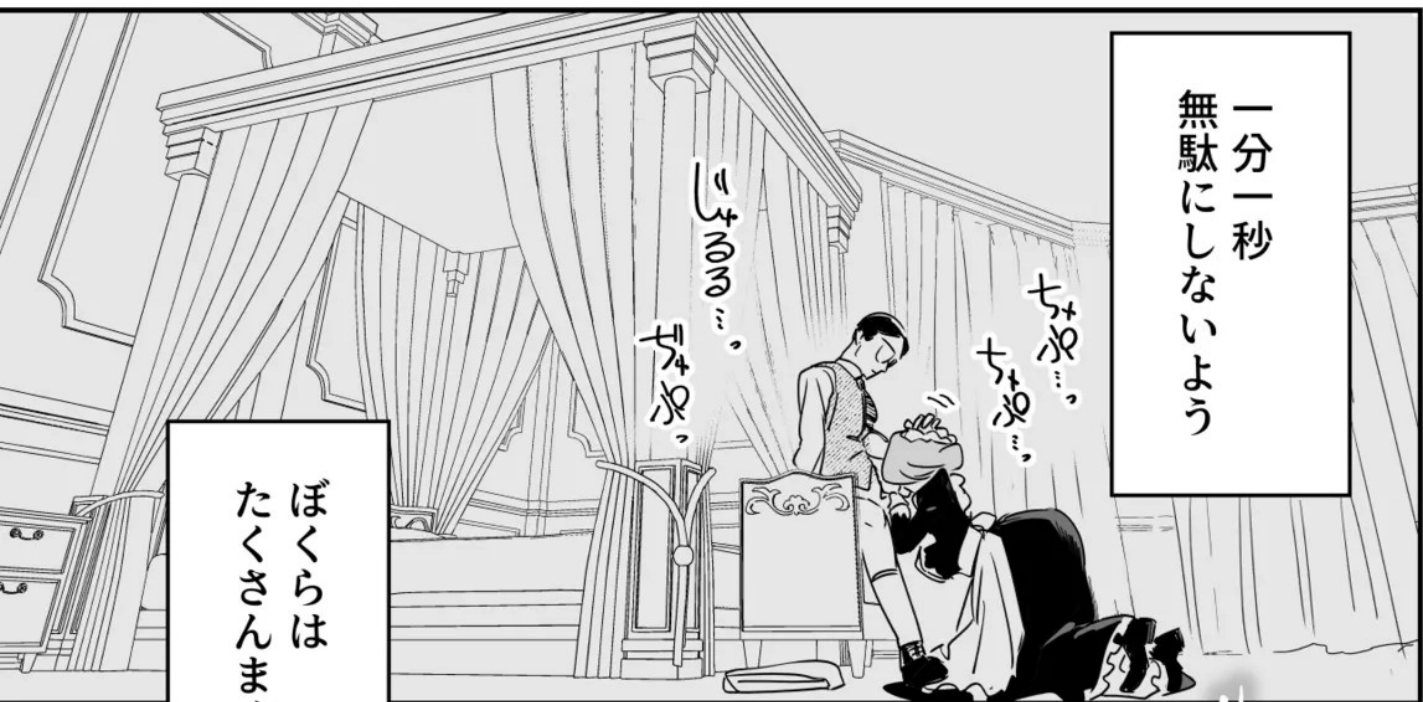
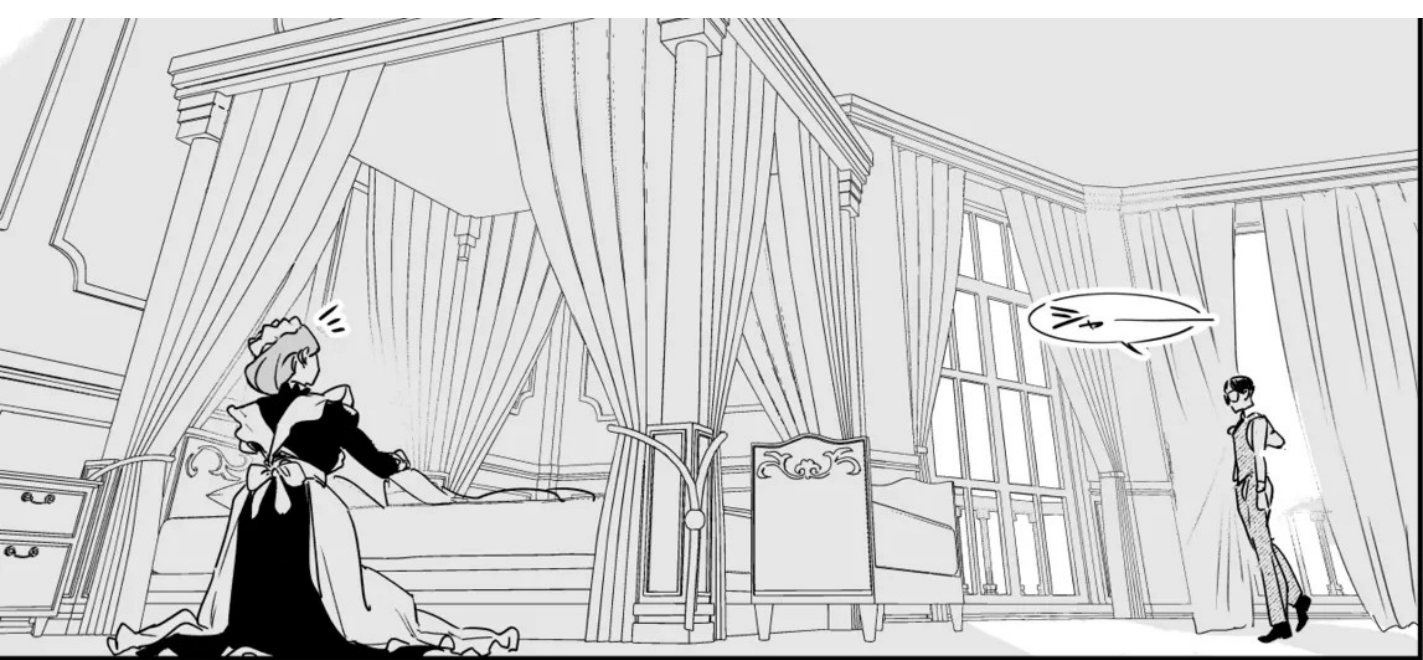
はい…
坊ちやま

…!

でしたら
こちらの
穴の方も…

しゅん
しゅん

しゅん





ヘンゼルは
パンのかけらを
探しましたが

野鳥が
ついばんで
しまっ

いつしか
かつての
子守部屋は



ただ乳母に
種を付ける
ための

魔女は
我慢できなく
なり...

おあ...
おあ...
おあ...

子作り部屋に
なっ



坊ちやまっ
子宮ぐりぐり
イク...

おあ...
おあ...
おあ...





…っ
…あのっ

坊ちやま
そろそろ…
ん…っ

ご両親が
お戻りになる
予定ですので…



早く孕み腹に
なってくれ

んぐ…っ
孕み…ます

!?

ちやんと赤ちやん
産みますから…っ

あっ
あっ

おめがらう
おめがらう

坊ちやま…ツ
聞こえますか

ご両親がツ
お戻りにツ

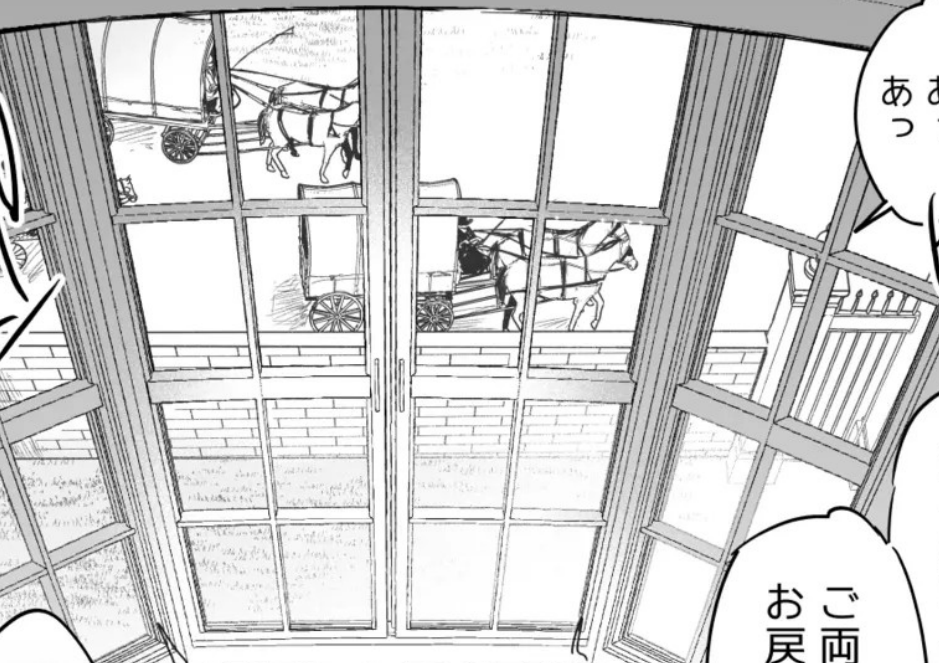
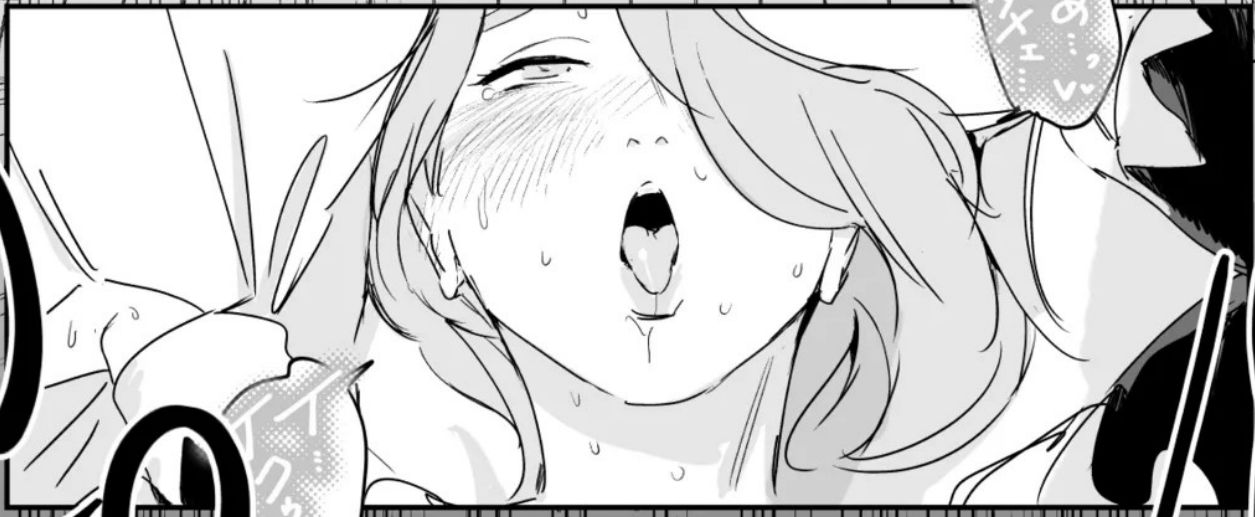
もう
やめないと…

み…っ
見つかって
しまいますよっ!?

坊ちやまと
毎日
ないしよで、

本気の子作り
していたの
バレちゃう……っ

やあ…
おエ…





ほ...

坊っちゃん...
待...

ハッ
ハッ
ハッ

もう...
トッてる...





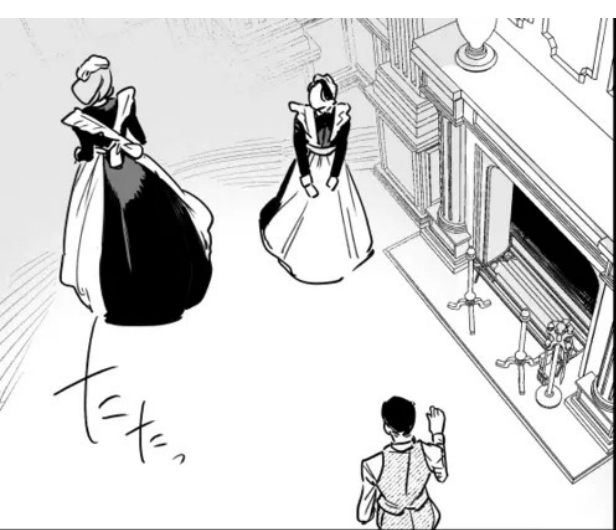
おや？
坊ちやまが
いませんね？

おおい
レオナルド！
今戻ったぞ

はい
父さん!

いま
参ります!!





イザベラ



イザベラ!



イザベラ



イザベラ



坊ちやま…

我々は本来
身分差のある
関係にございます

ご両親が
戻られた今

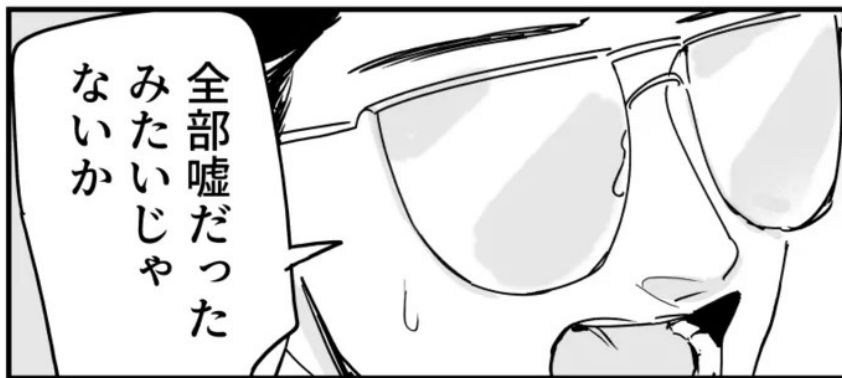
あまり
皆の前で
親しくなさっては…



やっと
捕まえたぞ

イザベラ

どうして
ぼくを
避けるんだい



全部嘘だった
みたいじゃ
ないか

でも
これでは…



僕は
きみのこと…



坊ちやまが
ぎりぎりまで

獣のように
マーキングされる
ものですから



秘部からあふれる
この音やニオイを
ごまかすのに

わたくし
必死だったのですよ……？



これらが
全部嘘だなんて

坊ちやまには
再度教育が
必要ですね…

次の休暇も
お待ちして
おりますよっ

坊ちやま♡